

2013 年度

Okayama – Kasetsart International Practical Environmental Education Program(GP 特別コース)

岡山大学環境理工学部・農学部／タイ国カセサート大学

1. 概要

夏季休暇中(タイ、日本で各2週間)、2年生を対象に「GP特別コース」を開講しました。タイ国のカセサート大学では、2013年度は8月18日～8月31日にかけて実施されました。期間中、岡山大学環境理工学部の学生6名はカセサート大学の学生6名とともに天然資源や環境問題を考えるうえで重要となる環境経済学や環境保全活動の実践教育を受けました。また、岡山大学環境理工学部においても同様に、9月8日～21日の期間、両国の学生は「人間活動と水環境」をテーマに講義演習を受けました。



タイ国カセサート大学・バンケンキャンパスにて

本コースの基盤となっている現代GPの取り組みでは、データの収集と解析力(Analysis of Data)、体系的な思考力(Thought)、問題解決のための計画性(Plan)、行動力(Action)そしてコミュニケーション能力(Communication)を付加したADTPAC水環境スペシャリストを、晴れの国である岡山より輩出することを目論んでいます。特に本コースでは英語で講義実習を受けることで生きた英語を学び、カセサート大学の教員・学生を通して環境学や異文化に接することにより、コミュニケーション能力と体系的な思考力を鍛えることを目的としています。

2. タイ国での講義風景



左の写真はコーディネーターであるDr.Penporn先生とDr.Kampanat先生による講義風景です。カセサート大学における講義は、天然資源や環境に関連する経済の概念や理論の理解を目的としています。講義は昼休憩を挟んで午前9時から16時まで、期間中で計45時間行われました。



上の写真はお互いの国の環境問題を紹介するプレゼンテーションの風景です。本コースにおいては、タイと日本の学生がそれぞれの国における環境問題について議論を交わすことで、国の枠を超えて環境問題を体系的に考え、コミュニケーション能力を高めることを狙いの一つとしています。



カセサート大学カンペンセンキャンパスにおいて、本プログラムコーディネーターでカセサート大学副学長であるソンバット先生にタイ国における農業システムの概要と環境問題についての講義を受けました。

3. タイ国での実習風景

カセサート大学カンペンセンキャンパスにおいて、Varanus Farm ではオオトカゲの生態について学びました。エネルギー環境工学センター（工学部）では環境への影響を考慮した様々な燃料を精製する方法などについて講義を受け学びました。農学部では米の栽培方法(品種実験)および販売システムなどについて学びました。昆虫ドームでは様々な昆虫の生態について学びました。



カンペンセンキャンパス郊外におけるモデル農場において、マッシュルームの栽培方法を学び、それぞれが各段階を体験しました。また、実際に自分達で料理も作りました。



カンペンセンキャンパス内の農業を複合的に行っている園芸農場において野菜(レタス)の収穫、定植(植え付け)、播種(種まき)を体験しました。

4. タイ国でのレクリエーション



5. 日本での講義風景



岡山大学環境理工学部での講義風景です。日本では「人間活動と水環境」をテーマに掲げ、水環境に関わりのある学問領域から多くの講師が講義を担当して実践教育を実施しました。タイ国カセサート大学と同様に期間中で計45時間を受講しました。



タイで学んだ内容をまとめ、英語でプレゼンテーションを行いました。発表の準備には専門用語を含めた高いレベルでのコミュニケーション能力とともに、全体を総合して体系的に捉える能力が必要となり、学生にとって良い機会になりました。

6. 日本での実習風景



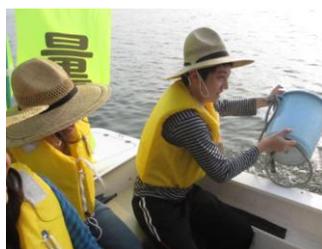
倉敷市玉島平野に位置する溜川において、水環境の改善活動に取り組んでいるNPO法人「溜川を美しい川にする会」の皆様のご指導のもとセミナーを行いました。現地では溜川を地域の財産と位置付け、地域住民が主体となって改善活動に取り組まれており、水環境改善活動における地域連携の重要性を学ぶことができました。ダルマづくり体験、酒造酒蔵および豆腐工場を見学しながら、街を歩き玉島の魅力を再発見しました。



中国四国農政局・岡山南部農業水利事務所の職員の方々にご協力頂き、湛井十二ヶ郷用水路を見学しました。岡山南部地域における水利開発、土地基盤整備の歴史を学ぶことで、効率的で安定的かつ地域の生態系・景観に配慮した田園環境の保全・創造への取り組みを知ることが出来ました。



岡山大学環境理工学部棟の東に2008年に水循環施設が完成しました。この施設は本コースの基盤となっている現代GPの取り組みで、自然環境の復元とその後の維持管理の2段階の実践教育を行うために活用しています。



本年度も水循環施設と岡山県南部に位置する児島湖で水質調査を実施しました。水循環施設で得られた結果を富栄養湖である児島湖と比較検討して発表することで、実践的に自然環境の機能を学ぶことができました。

7. 修了証書授与式



カセサート大学



岡山大学

カセサート大学及び岡山大学にて挙行了した修了証書授与式の様子です。受講者には日本とタイでそれぞれ試験が課せられ、合格者には各3単位の計6単位が付与されます。2008年～2013年ともに受講者全員が最終試験に合格し、6年間で約80名の修了生を輩出することが出来ました。